

市議団速報

HP <https://jcp-niigata-shigidan.com> No.315



2023年3月8日

日本共産党新潟市議会議員団

電話 025-226-3450

FAX 025-223-7748

Mail jimukyoku@jcp-niigata-shigidan.com

3月議会

ジェンダー平等、もみ殻活用など農業資源の循環システム、北区児童館で質問

— 風間ルミ子議員が一般質問 —



一般質問を行う風間議員

日本共産党市議団の風間ルミ子議員は6日、新潟市議会三月定例会で一般質問を行いました。その大要は次の通りです。

◇◇◇ 会計年度任用職員の処遇改善

風間議員は、ジェンダー平等の立場から、中原市長の、同性婚に対する見解、選択的夫婦別姓制度の見解、LGBT理解増進法案についての見解をそれぞれ質すと同時に、新潟県公務公共一般労働組合が昨年、会計年度任用職員の人たちを対象に実施したアンケート結果に基づいて、市の認識を質し、処遇の改善を求めました。

会計年度任用職員の多くは女性であり、この問題はまさにジェンダー問題でもあるとして、アンケートに寄せられた「何年間同じところで働いても賃金は変わらず、本来正規職員がすべき仕事をどんどん押しつけられ、残業しても職員と違い、残業代が一円も出な

い」「仕事に非常にやりがいを感じてはいるが、雇用期限があり毎年年度末には不安になる。職員の数は減少し続け人数不足で激務。もつと現場の声を聞いてほしい」をはじめとした多くの声を紹介し、早急な処遇改善を求めました。

古俣総務部長は、「令和五年度は、俸給表の改定により、パートタイム職員の例では、報酬が平均で月額三〇〇〇円程度増額になることに加え、期末手当の支給月数の引き上げを行う予定」と答弁しました。

◇◇◇ 市立中学校長による不祥事について

風間議員は、この一月に市立中学校長が児童買春容疑で逮捕され、市教委は三月三日に懲戒免職をおこなったことについて、「教職員の模範となるべき校長による不祥事であり、懲戒免職は当然の処分。子どもたちに対するカウンセリング等を行っていると思うが、これまでの対応と、再発防止策はどうか」と質しました。

井崎教育長は、「二月二七日に教職員へ綱紀粛正について通知を发出するとともに、二月六日には緊急研修会を実施し、管理職の責任の重さを自覚するよう指導した」としました。

◇◇◇ もみ殻の有効活用など農業資源の循環システムの構築

風間議員は、昨年開催された農政議連と農業三団体との意見交換会でも、もみ殻の有効活用について市の積極的な取り組みへの期待の声があったことを紹介し、「農家にとって処理に困っているもみ殻を有効に活用したいという願いは、多くの農業者にとって切実な問題であり、こうした農業資源循環システムの構築が必要だと考えるが、現状と課題は何か」と質問しました。

環境部長は、「本市は全国有数の農業地帯であり、そこから排出されるもみ殻をボイラーなどの燃料に熱利用することは、二酸化炭素削減に大きく寄与するものと考えています。しかし、もみ殻の集積や運搬の方法、作業を担う事業者の確保、事業採算のメドが立たないなどといった課題があり進捗がみられない」としつつ、「事業者へのヒアリング等を通じて、事業ニーズの掘り起こしを行うなど、資源循環に向けた取り組みを引き続き推進していきたい」と答弁しました。

◇◇◇ 北区の児童館再編計画は廃止ありきでなく、アンケート結果を生かしたものに

風間議員は、北区内にある四か所の児童館について、老朽化の進む葛塚東児童館と早通児童センターの機能を豊栄児童センターと三ツ森児童館に集約する方向が打ち出されています。区では、現在利用者等へのアンケート調査を実施していますが、「廃止ありきの検討になるのではなか」と危惧する声が届いている。旧豊栄市が、子どもたちの育ちを応援する施設として整備した児童館であり、そこには行政のあたたかいまなざしを感じるができることを強調し、廃止ありきの再編計画ではないのか、アンケート結果をどのように受け止め活かしていくのかと質問しました。

高橋北区長は、「二七〇件を超える意見をいただいた。その多くが子ども居場所がなくなるのではとの心配の声や、利用者の声を丁寧に聞いてほしいとの要望だった。いただいたご意見をふまえ、児童館が持つ子育て支援の機能を分析し、その対策を盛り込んだ再編計画案をパネル展示型説明会にお示しし、更にご意見をいただきながら丁寧なすすめたい」と答弁しました。

